

2017年人文地理学会大会・発表申し込み方法について

一般研究発表の申し込みについて：

以下の要項にて一般研究発表を募集します。発表申し込みは発表要旨集原稿のファイル（Word形式）のメール（e-mail）提出をもっておこないます。

発表種別：

「一般発表」、「公募セッション」の2種類の申し込みを受け付けます。「公募セッション」とは、共通のテーマを掲げ、3件または4件の個別発表と討論（質疑応答）をセットにした研究発表の形式です。なお今回の大会では、「ポスター発表」の募集は行いません。

申込資格：

1. 一般発表および公募セッションについては、11月19日（日）の指定時間に会場で発表ができること（発表時間帯の割り振りについては、大会準備委員会にご一任いただきます）。
2. 10月末日までに会員となっている方。非会員を含む共同発表も可能ですが、スピーカー（説明者）が本学会会員であることが条件です。ただし、1つの公募セッションに含まれる個別発表1件についてのみ、非会員をスピーカー（説明者）とすることが可能です。
3. 一般発表、公募セッションを通じて、スピーカーとなれるのは1件までです。また、共同発表者を含めて、2件まで発表者となることができます。
4. 発表言語は日本語または英語です。

申込締切： 7月18日（火）～8月25日（金）17:00まで ※厳守

応募期限内に以下の方法でメールによる申し込み（提出）を完了する必要があります。

申込方法：

「発表要旨集原稿」のファイル（Word形式）を添付し、メール本文中に①発表者氏名、②発表種別、一般発表の場合は希望する発表分野（第1希望・第2希望）※記入例（「社会地理」・「都市地理」）、③連絡先住所、④連絡先電話番号、の4つを記して、下記メールアドレスまで送ってください。

apply@hgsj.org（人文地理学会 大会発表申込受付係） [at]は@に置き換えてください。

なお、発表要旨集原稿は計2ページとなるよう作成してください。印刷は白黒となります。

公募セッションについては、代表者が全発表分をひとつのメールにまとめて申し込んでください。その際、メール本文中に①公募セッションのテーマ、②個別発表者の氏名、③代表者の連絡先住所、④代表者の連絡先電話番号の4つを明記してください。

※メールの件名に、「発表要旨集原稿」送付の旨を明記してください。

例) 発表要旨 (奈良女子大学・吉田容子)

※添付する発表要旨集原稿の「ファイル名」には必ず申込者の名前をアルファベットでつけてください（名前のイニシャルと名字のアルファベットを書く。例は、吉田容子の場合）。

例) YYoshida_Abstract.doc

到着確認後 3 日以内（土日を除く）に返信メールをお送りします。返信メールが未着の場合は、学会事務局にご連絡ください。

必ず指定フォーマット（Word 版）でご提出ください。レイアウトやフォント（字体）がフォーマットに従った形になっているか、図表の解像度等が十分か、誤字・脱字等のミスがないか等について、十分確認してから提出してください。なお、発表要旨集作成作業の混乱を避けるため、**いったん申し込んだ発表題目や要旨等の差し替えは、一切できません**ので、原稿の提出前に十分確認してください。また、指定フォーマットとの大きな違いがない限りはそのまま掲載します。

★口頭発表は、例年通り 25 分程度を予定しています。発表ではパワーポイントを使用できます。発表資料は原則として、事前に提出いただく原稿に基づく発表要旨集のみとします。

★なお、公募セッションに関する要領等は、以下の通りです。

(1) 公募セッションは、代表者・個別発表者・司会者（座長）のチームから組織されるもので、一般発表の 3 件分、または一般発表の 4 件分の時間帯を一枠（フレーム）として使うことができます。3 件分のフレーム（A セッション）か 4 件分のフレーム（B セッション）のどちらかを選択できます。

(2) 公募セッションの代表者は、個別発表者または司会者（座長）を兼ねることができます。司会者（座長）は、公募セッションの全体を通じて一人が担当するものとし、プログラムの座長表にも記載します。

(3) A セッションの場合は 3 件の個別発表によって、B セッションの場合は 4 件の個別発表によって、それぞれ構成します。個別発表を連ねた後に、まとめて討論（質疑応答）の時間をとることを原則とします。また、公募セッション開始時には趣旨説明を行うことができます。なお、個別発表の題目は内容に即したものとし、「その 1」「その 2」などの題目は受け付けません。

(4) 公募セッションを構成する個別発表の時間は、一般発表の「第 1 鈴」相当の時間と「第 2 鈴」相当の時間の間で、任意に設定することができます。公募セッション終了時を含めて、各交替時間として 1 分ずつを確保します。なお、2015 年大会の発表時間（25 分：1 鈴 15 分・2 鈴 20 分・3 鈴 24 分）を基準に例示すれば、次のような配分が可能です（個別発表にも短い質疑応答の時間を設定することができます）。

例) A セッション 75 分：趣旨説明 3 分・個別発表 3 件 15 分（発表 13 分+質疑応答 2 分）
×3・討論 22 分・交替時間の合計 5 分

例) B セッション 100 分：趣旨説明 3 分・個別発表 4 件 17 分（発表 15 分+質疑応答 2 分）
×4・討論 23 分・交替時間の合計 6 分

(5) 公募セッション用の会場は設けず、同じ会場に分野・内容に即して一般発表と公募セッションとを適宜、配置します。

(6) プログラムには、公募セッションのテーマ、代表者名、個別発表の発表者名、発表題目を掲げます。開始時間と終了時間を明記し、個別発表のそれぞれの時間は記載しません。なお、個別発表には、当該会場全体の発表順に従う発表番号を付します。